

社民党

渡辺みのる通信

● 第 43 号 ●

発行日/2018年(平成30)4月(3月議会号)
 発行/渡辺みのる後援会
 石川町大字北山形字引地1
 電話&FAX 0247-26-6994
 携帯 090-2798-0434



写真説明

ヤマエンゴサクの可憐な、何と奇妙な形の花である。細長い青紫色の花をつける。山野の林下に群れをなして生える多年草である。

平成30年度予算総額は69億9千万円 新年度から保育料無料化(3歳~5歳)

3月の温かさは、春を一気に呼び寄せ、サクラや野草も一斉に咲き乱れ、早い季節めぐりに驚いています。

3月議会は、3月8日~16日までの9日間開催しました。平成30年度事業及び予算の審議が中心となる議会です。

一般会計の総予算額は69億9千万円で、新規事業として、認定こども園整備事業、保育料無料化(3歳~5歳)、旧雇用促進住宅整備事業、コンビニ収納事業、Wi-Fi環境整備事業、看護小規模多機能地域密着型施設事業、子育て世代包括支援センター設置等が計上されました。

また、平成29年度から進められている文教福祉複合施設整備事業(旧石川小改修)では、アスベスト対策のため、2月13日の臨時会で、工事契約の変更が可決されました。1億9千9百万円の増額で、契約金額は10億1千百万円となりました。

みなさんは花見をしていますか。 サクラを目愛でながらの一杯が、最高

春は多くの花が一斉に咲きます。特に満開の桜は素晴らしく、「日本の桜は世界一美しい」と言われています。

花見の起源は2つあるとのこと。1つは貴族文化的なもので、奈良時代には梅の、平安時代には桜の花見が行事として、もう1つは農民文化的のもので、江戸時代になって、春になると、近くの野山で豊凶作を占う農事として行われたとのこと。皆さんの住んでいる地域にも大切にしている桜があると思います。桜を愛でながら、一献、酌み交わしてはいかがでしょうか。

お酒は宇都宮酒造の「四季桜」がお勧めです。花より団子ですかね。

ちなみに、和菓子の桜餅には塩漬けた「大島桜」の葉を使います。

大島桜の木は、あさひ公園にあります。(M.H)



▲高校生による鈴木家での花マルシェ

◆一般質問から◆

渡辺：慣れ親しんだ公民館の存続を 町長：生涯学習センターに改称、公民館機能は維持する

旧石川小を文教福祉複合施設にするため、改修工事が行われていますが、その中に入るのは、図書館、生涯学習、放課後児童クラブ、赤ちゃん広場（子育てサロン）、屋内遊び場が整備されることになっています。特に、公民館はなくなり、生涯学習センターにかかわるとされていますので、その目的や社会教育がどう変わるのか訪ねました。

渡辺 公民館の存続を。

教育長 公民館を生涯学習センターにしたい、公民館機能は今までと変わらない。

渡辺 変える理由を伺いたい。

教育長 公民館では専ら営利目的とした事業を行い、営利事業を援助することができないので、多様な利用が可能となります。

渡辺 公民館と生涯学習センターの教育の違いは何か。

教育長 社会教育は人々への学習に対する教育的な働きかけであり、教育的に高める活動です。生涯学習は人々の生涯に亘る自発的学習活動をさすものです。

渡辺 公民館の営利事業に対する国の解釈も変わってきているし、昨年社会教育法改正で、地域における学習の拠点として公民館への期待が高まっているのになぜ変えるのか。

教育長 生涯学習センターになっても役割は変わらない。

渡辺 町には公民館は1つしかない、営利事業の利用施設はいくつもあるのではないかと。

また、町の課題である少子化、高齢化、人口減少などに対する取り組みを教育的な面から、人づくりの面から支えることが大事である。公民館職員も10名から1名、2名の配置になっている。これで良いのかと思う。

生涯学習センターになったら貸館業になるのではないかと。



▲3月17日橋葉町で開催された原発のない福島を県民大集會

人権擁護委員候補者に小松広江さん

石川地区からの人権擁護委員候補者に小松広江さん（字境ノ内）を推薦することになりました。

敬老祝い金額が改正

敬老祝い金額の改正が次のように行われました。

- (1) 75歳に達した者 3000円（改定前2000円）
- (2) 100歳に達した者 30万円（改定前50万円）

教育長 公民館職員減少への考えは議員と同じです。「公民館機能」のサブタイトルをつけることは問題ないと考えています。



保育園落選が 4人に1人

4月2日の朝日新聞一面トップの見出し、「保育園落選4人に1人」の文字が目飛び込む。同記事によれば、今年4月入園に向けて認可保育施設に申し込んで第1次選考で落選した子どもが57自治体で6万人を超え落選率は約26%、4人に1人が落ちた計算になるという。61自治体のアンケート調査の結果であるという。

今後、第2次選考や認可外施設等に調整され、秋ごろに待機児童数が公表されるという。

それにしても、少子化が叫ばれて久しい、待機児童問題が叫ばれても久しい。なぜ改善されないのだろうか、不思議でならない。子どもは社会の宝であるはずである。公立保育所は統合・民営化で減少し続けている。原因は保育所の運営経費・建設費が一般財源化され、自治体の負担が大変になったこと、国の保育所建設補助は廃止され、自治体が自前での建設が難しくなったこと等々。

子どもの保育に対する国や自治体の責務を少なくして、民間の参入、市場化を進めてきたことが大きいと思う。このままでは地域の未来も、国の未来も暗くなる。

4月から税金等の コンビニ納入が可能に

税金や保育料・住宅使用料などが4月からコンビニ納入が可能になりました。そのため納期限が月末に統一されました。

月末が休日等の場合は、納期限は翌日あるいは次の営業日に変更、12月は次の開庁日になります。

コンビニ収納対象税目等は次のとおりです。

個人町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、住宅使用料、保育料、児童館使用料、放課後児童クラブ利用料、汚水処理施設使用料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、水道料。

監査委員に南條一夫さんが選任

新しい町監査委員に南條一夫さん（字下泉）が選任されました。

◆一般質問から◆

渡辺：旧雇用促進住宅の改修で、アスベストは 町長：2ヶ所から検出、改修では対策を実施する

旧雇用促進住宅の改修は、平成28年度に町が購入し、若者・子育て世帯向けに改修し、町の住宅として活用します。まず、1棟を29年度に実施設計、30年度に改修、31年度から入居ができるようになっていきます。実施設計の内容と今後の進め方を質問しました。アスベストは撤去し、改修すべきと考えています。

渡辺 アスベストの使用はありましたか。

町長 今回の調査で、天井と階段裏の塗材から検出しています。実施設計で対策を講じます。

渡辺 対策は「封じ込めや囲い込み」でなく除去をするべきです。検討していただきたい。住宅の位置づけは。

町長 一般住宅としての位置づけです。

渡辺 室内における、有害物質の濃度を少なくするため、建材の使用を検討してほしい。

町長 実施設計や施工の中で十分配慮していきます。

渡辺 家賃設定の考えは。下泉町営住宅の家賃は。

町長 公営住宅法による家賃と民間賃貸住宅の家賃との均衡を考慮し、基準を設けていきます。下泉町営住宅の場合は最低が2万9千円、最高が4万3千円です。



▲3月13日、議会の旧石川小アスベスト除去工事の調査

渡辺 今後の改修工事日程は。

町長 30年度入札、工事期間6ヶ月、来年4月入居できるように進めます。

渡辺：移住者促進は、町の重要施策

町長：人口減少の中で積極的に取り組む

渡辺 町への移住者の状況は。

町長 平成20年度から本年まで、8世帯25名が関東圏から移住しています。

渡辺 新規農業就農者への支援体制は。

町長 研修教育費、農地賃借料、施設・機械リース料住宅賃借料に対する助成があります。また、町農業経営改善センターを設置し、農業技術や経営への支援をしています。

渡辺 一般の移住者への支援体制は。

町長 情報の提供や相談窓口を町づくり推進課に一本化し、庁内移住者推進本部を設置しました。

渡辺 移住者推進の施策を伺う。

町長 人口減少の中で、重要な対策であり、積極的に取り組みます。

子どもたちの未来のために④

平気で「うそ」をつく、 国の責任者を許してはいけない

「うそについてはいけません。」子どものころ誰でもが、親や教師など大人から教えられたことではないでしょうか。それは、時に「うそ」が信頼関係をこわしたり、不信感を招いたり、損害を与えたりするからです。

森友学園の国有地取得問題、加計学園認可問題、そして自衛隊の日報問題…、今度は、セクシャル・ハラスメント(セクハラ)をめぐる辞任騒動…。よくもまあというほど出てくる「うそ」に、うんざりしてしまうほどです。しかし、このことは日本国内の問題にとどまりません。世界中に発信されているのです。世界が日本をどう見ているかを考える時、私たち国民の言動も厳しく問われていることを忘れてはなりません。「嘘も方便」と許してしまえば、責任の重い立場の人たちは平気で嘘を重ねていくかもしれません。

新学期がスタートしました。忙しさの中で、「心を亡ぼす」ことなく、許してはいけない「うそ」には、「うそについてはいけません」と、はっきり教育的指導をしなくてはなりません。大人の姿を、子どもたちは見て学ぶのですから。(K. H)



▲モミジイチゴの花、黄色い実をつける。別名キイチゴ

平成30年度、石川町の新規事業及び拡大事業(抜粋)

イノシシ対策
 電気柵設置に補助金新設
 補助率 2分の1
 上限：個人10万円
 団体（3戸以上）100万円



まちなか公園整備事業
 荒町の鈴木重謙屋敷周辺をまちなか公園として整備
 トイレ建設と周辺整備
 予算：24,084千円

石尊山公園整備事業
 危険防止策、遊具の撤去
 樹木の伐採等
 予算：5,000千円

看護小規模多機能地域密着型施設整備補助金（訪問看護施設）
 1施設当たり：定額補助32,000千円
 1床当たり621千円
 予算：37,589千円

認定こども園整備事業
 基本計画策定、用地測量、基本計画策定の実施
 予算：20,000千円

石川中給食調理場建設事業
 30及び31年度2ヶ年事業
 老朽化施設の新規建設事業
 予算：202,500千円

鉱物館整備事業
 公民館を鉱物館として、利活用するために耐震診断を実施
 予算：1,115千円

保育料無料化（3歳～5歳）
 予算：53,500千円

旧雇用促進住宅改修事業
 1号棟を子育て世帯向けとして改修する
 予算計上：178,000千円



子育て世代包括支援センター設置
 妊娠期から子育て期まで支援体制を整備する
 予算：1,825千円

税金等のコンビニ収納開始
 4月から税金、使用料、保育料、水道料などコンビニで納入開始。代行業務手数料
 予算：735千円

Wi-Fi環境整備事業
 役場庁舎、文教福祉複合施設、鈴木重謙主屋
 総合体育館に整備
 予算：11,185千円

防災行政無線システムデジタル化事業
 調査設計の委託
 予算：8,043千円

ゴボウの食ちから 腸に良いだけでなく、スタミナ強化に

腸活とか、腸育といった新語が話題になっています。人間の免疫細胞の70%は腸内で作られており、腸が元気であれば、免疫力もパワフル、簡単には、病気になりません。

腸を元気にする2大要素こそ、食物繊維と生きた菌を取ること、食物繊維は野菜や海藻など、生きた菌は発酵食品。

縄文時代から日常生活を見ても、ゴボウが象徴するように根菜が多く、葉物野菜、山菜、キノコ、海藻、玄米や穀物など、発酵食品は味噌や納豆、漬物などを常食し、腸内菌が元気になるものを多くとってきたのです。

日本人は今や世界トップレベルの長寿民族です。しかし、近年、食生活が欧米化した結果、食物繊維の摂取量が極端に減っています。50年ほど前は1日当たり27グラムもとっていたのが、12グラムしかとっていません。野菜不足が原因です。中でも、ごぼうは特別、

きんぴらなどおかずの定番で、正月や祝い事の食事には必ず登場しました。

ゴボウの原産地は、欧州からシベリア、中国東北部と広く、日本への渡来は縄文時代です。

ゴボウは江戸時代の「本朝食鑑」には「ごぼうは強腸（強精）の薬として用いられているが、効能がはっきりしない」とか、井原西鶴の「好色一大男」の主人公、世之介が女護島へ向かう船にゴボウ、ヤマイモ、生玉子などを山積みしており、ゴボウの強精作用は知られていました。

ゴボウにはスタミナ強化で注目のアルギニンがずば抜けて多い。

ゴボウの長寿成分は豊富な食物繊維で、腸内細菌の第1のエサとなって腸に元気をつけ、コレステロールを退治し、がんを予防する力になっています。

参照：月刊社民1月号食文化その80ゴボウ（食文化史研究家永山久夫）

▲赤い花をつけるクサボケ